

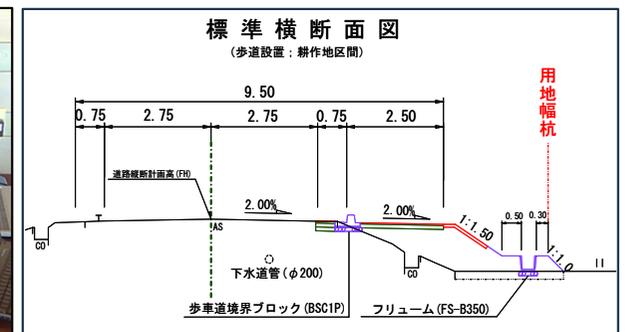
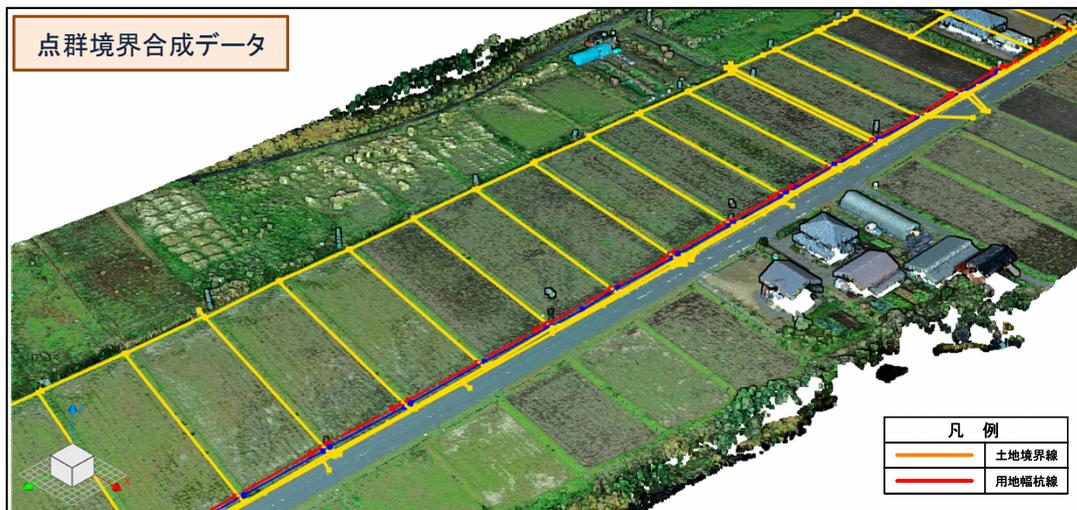
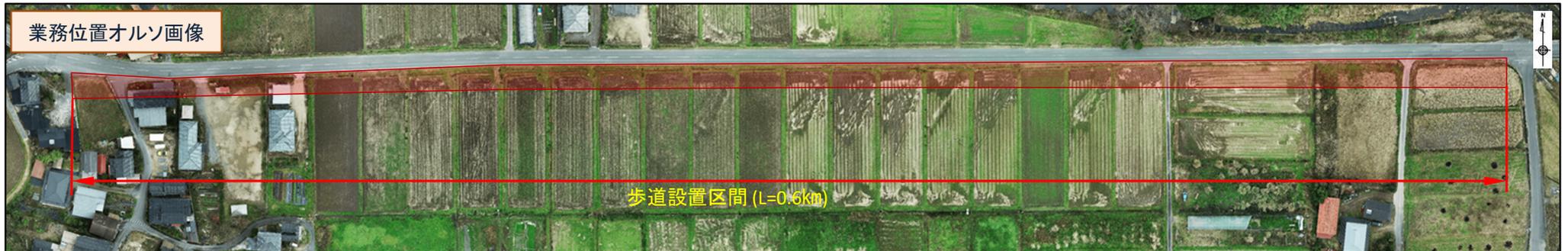
# 令和5年度優良業務

(測量・地質・補償関係コンサルタント部門)

業務名: 県道上大立大栄線(横手工区)通学路安全対策工事「用地調査等業務委託」

受託者: ダイニチ技研株式会社

主任担当者: 松本 隆明



- 委託場所: 鳥取県倉吉市大立
- 工 期: 令和4年11月22日～令和5年6月30日
- 委託概要: 県道上大立大栄線(横手工区)における通学路の安全対策として、歩道設置を目的とした用地測量及び用地調査を実施したものである。
- 委託金額: 14, 505, 700円



主任担当者  
松本隆明

(コメント)

本業務は、他社が進める路線測量及び詳細設計業務と同時進行で実施した用地測量となります。双方の実施工程を発注者並びに関係機関と調整・協議を重ね、業務の手戻り回避に繋がりました。また、UAVにて取得した点群情報に境界及び幅杭情報を合成した資料を活用し、高齢者の多い地域での立会にて利便性及び安全性向上を図り、円滑に境界確認を実施できました。今後もUAVやTLS等の3D計測技術を活用し、地域住民に分かり易い情報を効率よく安全に提供したいと考えます。

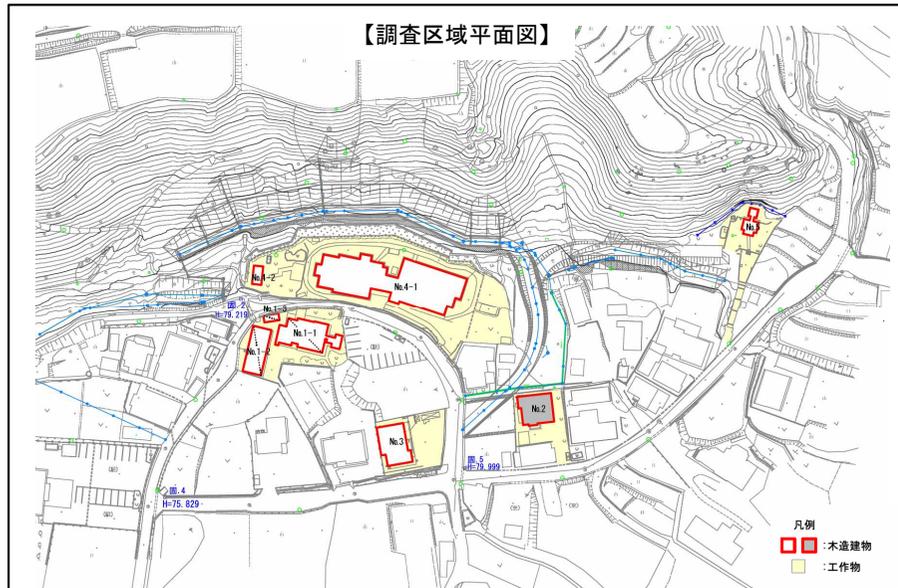
# 令和5年度優良業務

(測量・地質・補償関係コンサルタント部門)

業務名: 長山地区急傾斜地崩壊対策工事「地盤変動影響事後調査業務委託」(交付金)

受託者: 株式会社アスコ

主任担当者: 佐々木 裕子



## 【調査状況写真】



傾斜測定



損傷調査

## 【調査結果】

変状箇所および申し出箇所一覧表							上段: 事前調査	下段: 事後調査
建物番号	名称	住居材	用途	傾斜計	傾斜計	備考		
100	外壁	外壁	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
101	外壁	外壁	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
102	内壁	内壁	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
103	天井	天井	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
104	床	床	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
105	柱	柱	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
106	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
107	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
108	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
109	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
110	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
111	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
112	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
113	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
114	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
115	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
116	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
117	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
118	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
119	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計
120	土留	土留	住居	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計	傾斜計

- 委託場所: 西伯郡伯耆町長山
- 工期: 令和5年7月26日～令和6年2月28日
- 委託概要: 本業務は、急傾斜地崩壊対策工事による振動等の影響を受けた可能性のある家屋の地盤変動影響事後調査を行い、工事起因変状が生じていた場合、補償費の算定を行うものである。
- 委託金額: 9,925,300円



主任担当者  
佐々木 裕子

(コメント)  
非常に多くの損傷の申し出をされた建物があり、漏れが生じないように、損傷の一つ一つを申出者と確認しながら丁寧に調査することを心掛けました。  
損傷の発生要因を特定するのに苦労しましたが、発注者と協同で作業を進めました。調査結果をよりわかりやすい資料とするため、変状有無等の内容を色分けするなど、創意・工夫に努めました。  
補償業務の仕事はとても地味だと思いますが、公共事業を推進していく上では不可欠な業務だと考えます。今後も公共事業を推進していくため、アスコ職員は一人となり公共事業に貢献したいと考えております。  
申出者の理解を得たこと、そしてこの度表彰を受けたこと、大変うれしく感じております。

# 令和5年度優良業務

(県外コンサルタント部門)

業務名: 国道482号外路面性状調査業務委託

受託者: 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社 鳥取支店

現場代理人・主任技術者: 高砂圭司

- ・専用の路面性状測定車を使って画像撮影と縦断形状計測を行う。
- ・得られた画像や計測データから「ひび割れ・わだち掘れ・IRI」を判定する。

【撮影・計測状況および機器】



- 委託場所: 鳥取県土整備事務所の管理する道路
- 工期: 令和5年10月11日～令和6年3月25日
- 委託概要: 鳥取県土整備事務所が管理する道路の路面性状(ひび割れ・わだち掘れ・IRI)を調査し、維持管理の基礎資料を得るとともに、最適な補修工法の選定や舗装の中期計画に活用するための資料を作成したものである。
- 委託金額: 10,938,400円

- ・撮影画像が10mピッチで確認できる専用ビューワーを作成
- ・判定結果から路面性状管理図や集計を作成
- ・データベースで対象箇所の画像名をクリックするとビューワーが開き前後の状況が容易に確認できるよう工夫する

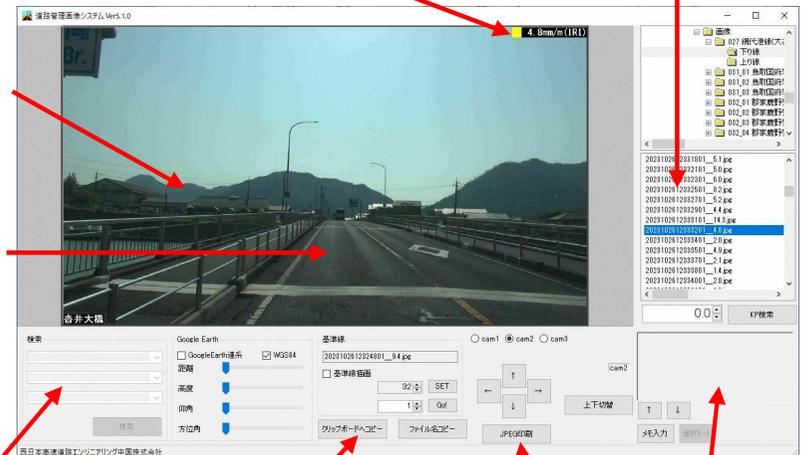
【専用ビューワー】

路面評価(IRI)

10m毎の連続静止画像

沿道状況  
および道路  
付属物  
状況

路面状況



(コメント)

撮影画像や計測データの品質確保に努めました。特に撮影が比較的太陽の高さが低い時期だったため、太陽光の位置と測定車の方向や角度により逆光にならないよう測定時間を検討しました。道路は人々の生活に欠かせないものであり、路面性状調査を含め、関連する仕事は重要なことと考えます。今後も品質向上に努め社会に貢献していきたいです。